

平成23年第5回（12月）上越市議会定例会

文教経済常任委員会資料【所管事務調査】

新水族博物館整備庁内検討委員会検討結果の報告について	・・・・・・・・	1
新水族博物館整備庁内検討委員会報告書	・・・・・・・・	別冊
上越市新水族博物館基本計画（案）概要版	・・・・・・・・	参考

新水族博物館整備庁内検討委員会検討結果の報告について

所管委員会	文教経済常任委員会
提出課	水族博物館ほか

◎ テーマ：新たな水族博物館の必要性や整備の可能性に関する検討と現基本計画(案)の精査

■庁内検討委員会メンバー

総合政策部…部長、企画課長、政策調整課長、財政課長
産業観光部…部長、観光振興課長、中心市街地活性化推進室長
教育委員会…部長、教育総務課長、水族博物館長

■検討期間

平成22年8月～平成23年11月

■新水族博物館整備にあたっての基本的視点による検討

1 必要性の確認

当市の生涯学習施設、社会教育施設、集客施設、当市のシンボルとして、水族博物館は必要

2 建設するとした場合の時期

新幹線開業の効果や現施設の耐用年数等を考慮し、新幹線開業後早期の整備が合理的

3 整備にあたっての論点

合併特例債の活用及び管理運営にあたっての条件整理が必要

■現基本計画案の精査

1 水族博物館を取り巻く社会情勢

民間参入に係る現状の再分析を始め、新幹線開業に伴う影響、効果等の分析が必要

2 上位計画・既存構想との整合

新市における水族博物館としての位置付けの明確化が必要

3 広域レクリエーションゾーンの現状分析

より広域からの利用圏域の想定や立地場所の再検討を始め、付帯機能、中山間地域との連携の視点による分析が必要

4 新水族博物館整備の考え方

ターゲット(客層や年齢層等)の明確化及び“日本海”をより強く意識した内容への修正

5 展示計画について

“首都圏から一番近い日本海”のPRや当市の水族博物館の歴史のPRが必要

6 施設計画、維持管理・運営計画について

損益分岐点の明確化や増築棟の利活用、管理方法の再検討等が必要

7 事業費・事業収支の試算について

整備財源や入館料、ライフサイクルコスト等の面からの再検討が必要

■検討結果

- 1 新水族博物館は、当市にとって不可欠な施設である。
- 2 北陸新幹線開業年に近接した時期に開館した方が、相乗効果が高い。
- 3 現下の経済情勢から、施設は公設を柱に検討する。
- 4 立地場所は、景勝地が最良ではあるが、取水を考慮して選定する必要がある。
- 5 増築棟の活用も整備費用を削減する上で検討が必要と考える。
- 6 現計画案における建設工事費63億円を最大値として、詳細条件を整理し検討を継続する。□
- 7 整備財源は合併特例債(可能であれば補助金・交付金の活用を含む)の活用を検討する。□
- 8 現計画案における管理・運営はPFIや指定管理者を想定しているが、運営形態別の長所や短所など幅広く検討し、最適な運営手法を見出す必要がある。
- 9 赤字前提の運営には問題がある。

■今後の方向性

- 1 現計画案を当市として運営可能な内容に修正することが必要。
- 2 平成24年度では、整備する場合の詳細な条件等について、コンサルを入れて整理しながら、実現可能性などについて市民や有識者の参画を得ながら、検討を進める。

(例)施設規模と集客力の関係性の整理
当市に適した施設整備の手法
管理・運営形態別の長所短所
損益分岐点の明確化
具体的な経済効果の把握 など

当市として持続的に運営可能な施設
整備の条件を具体的に整理していく